

## 22 世道源宗一和尚の足跡

22世道源宗一和尚は、画才にたけ、数多くの仏画を残しました。その中から数点を紹介します。

### 十王経物語

十王とは、冥界（死後の世界）の住人である十人の裁判官をいいます。人の死後、空中をさまよう魂は、生前の罪科ごとに、大王により七日毎に審判を受けます。この審判日に少しでも罪科を小さくと遺族の方が願うのが、七日ごとの法要です。

十王の中で特に絶大なる力を持っていたのが有名な閻魔大王です。

この物語を24枚の仏画にしました。ここに示すものはその中の2枚、「冥土の迎え」と「閻魔大王」の仏画です。



### 九相観図

檀林皇后（786-850）は嵯峨天皇のお后で才媛の誉れたかく絶世の美女と謳われ、深く仏教に帰依されていました。死に臨んで、自らの遺体を埋葬せず路傍に放置せよと遺言し、人の生命が終わった後、必ず訪れる肉体の醜い変化の現実を世の人々に示し、人々はその様子を見て世の無常を心に刻み、僧たちも妄念（迷いの心）を捨てて修行に打ち込んだということです。

生前1枚と死後9枚（九相）の仏画から構成されています。ここに示すのは、生前の姿をあらわした仏画です。



### 本堂内陣格天井に描かれた2種類の龍

本堂内陣の格天井に、2種類の龍（各36枚）が描かれています。



山門としだれ桜



山門揭示  
山号の扁額  
22 世道源和尚揮毫



本堂揭示  
寺号の扁額  
22 世道源和尚揮毫

臨濟宗方広寺派

なら ぜ さん  
双瀬山

ちょう げつ じ  
釣 月 寺

〒441-1946 愛知県新城市副川大双瀬 22  
電話：〈0536〉35-0071

ホームページを開設しています。  
検索サイトに「[釣月寺](#)」と入力し、検索してください。